

# 信州のド真ん中！ 美しいものづくりのまち 岡谷市 標高 781m

開催部門



## 高校生が見た！岡谷市ってこんなところ

岡谷市は、諏訪湖に面したものづくりのまちです。明治から昭和初期にかけて、製糸業が盛んになりました。一時は、岡谷の製糸家による生糸生産高が国内生産高の4分の1を占めた日本一の生糸のまちです。また、迫力ある岡谷太鼓は全国的に有名になりました。毎年行われる太鼓まつりは、全国からたくさんのお客さんで賑わっています。おいしいものもあります。土用丑の日といえば「うなぎ」。岡谷はうなぎのまちとしても有名です。冬には、寒の土用丑の日を広めようとうなぎ祭りが行われています。



岡谷 太鼓まつり  
(写真提供 岡谷市)



糸取りの様子↑  
(写真提供 岡谷市)

岡谷蚕糸博物館  
シロコウコトオヤ

岡谷市の観光情報は↓

旅たびおかや  
TABI TABI

信州岡谷情報サイト



岡谷市へのアクセスは  
岡谷市観光協会HPへ→



長野県の観光情報は↓

長野県公式観光ウェブサイト  
さわやか信州旅.net



# 美しいものづくりのまちが生んだ 「童画」のパイオニアに出会える美術館

## 武井武雄の世界 イルフ童画館

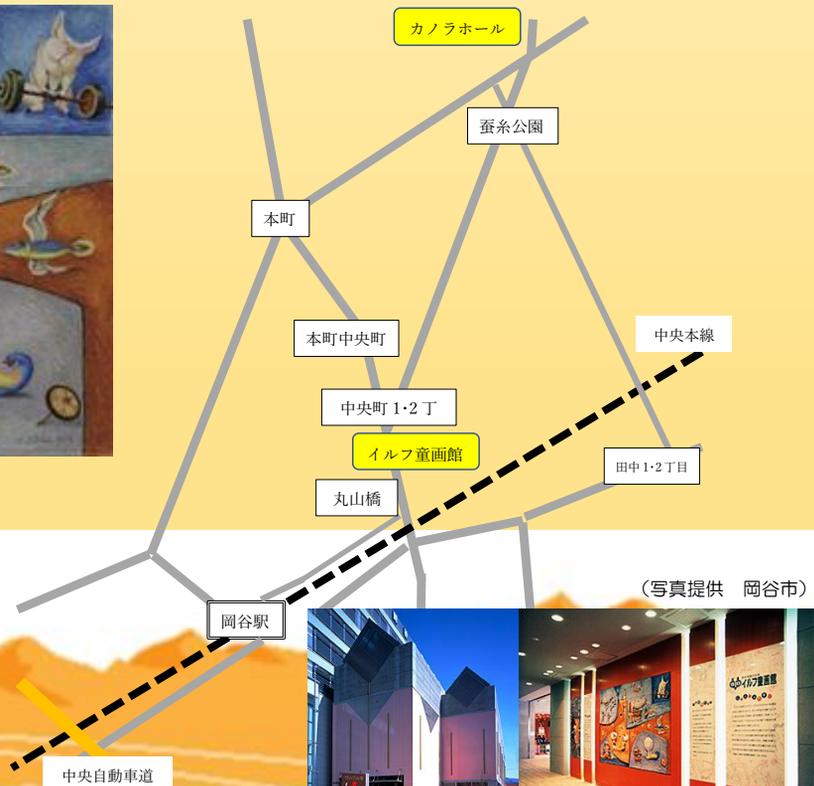
『武井 武雄（たけいたけお）』（明治27年～昭和58年）  
岡谷市出身の童画家。「子どもの心にふれる絵」の創造を目指して、自ら『童画』という言葉を生み出し、大正から昭和にかけて童画、版画、刊本作品、玩具やトランプのデザインなど様々な芸術分野に活躍しました。

いつも探求心をもって生涯挑戦を続けた武井さんは、子どものための絵を総称する提案を行うとともに、童心を巧みに表現した独自の画風で童画界をリードしてきました。

童画家「武井武雄」の童画、版画、刊本作品等は、岡谷市日本童画美術館“イルフ童画館”で収集、展示しています。「童画って何だろう？」「なぜ美術館の名前がイルフなのだろう？」と思った方もぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？



「星曜日」武井武雄 作（1965年）  
（写真提供：岡谷市）



（写真提供 岡谷市）



中央自動車道